

2023年5月12日

各 位

会社名 東邦ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役 CEO 有働 敦  
(コード番号 8129 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員 広報 IR 本部長 河村 真  
(電話 03-6838-2803)

### 中期経営計画 2023-2025 「次代を創る」 策定に関するお知らせ

東邦ホールディングス株式会社は、2024年3月期から2026年3月期までの3年間の中期経営計画 2023-2025 「次代を創る」(以下「中計 2023-2025」)を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 中期経営計画策定の趣旨

当社グループは、「全ては健康を願う人々のために」をコーポレートスローガンとして掲げ、「わたしたちは社会・顧客と共生し、独創的なサービスの提供を通じて新しい価値を共創し、世界の人々の医療と健康に貢献します」との経営理念のもと、常に健康を願う人々を第一に考え、その満足度を高めるべく付加価値提案型のビジネスモデルの確立と顧客価値の創造に取り組むことで、持続的な成長による中長期的な企業価値の向上とコーポレートブランドの確立を目指しております。

私たちを取り巻く市場は、「2025年問題」「2030年問題」と称される少子高齢化や労働人口減少等の社会問題を見据え、社会保障制度を持続可能なものにするための「地域包括ケアシステム」の構築や医療費抑制策の推進、バイオ医薬品・再生医療等製品をはじめとするスペシャリティ製品の市場拡大や医療DXの促進など、環境変化がますます加速すると予測されております。

このように医療ならびに医薬品業界の環境変化が急速に進む中で、当社グループは医療・健康・介護分野に携わる企業集団として、国民の健康寿命の延伸と持続可能な社会保障制度の構築・維持に貢献すべく、中計 2023-2025 を策定いたしました。

この先に広がる「次代」に向けた基盤創りである中計 2023-2025 を実行することで、厳しい市場環境を乗り越え持続的に成長するとともに、全てのステークホルダーから必要とされ、継続して支持される企業集団を目指してまいります。

#### 2. 中計 2023-2025 の基本方針および具体的施策

(1) 事業変革、(2) 成長投資・収益性向上、(3) サステナビリティ経営、(4) 資本効率の改善と株主還元の向上、を基本方針とし、実行してまいります。

各基本方針の具体的施策は下記の通りです。

## (1) 事業変革

### ①卸売事業の変革

医薬品業界の大きな課題の一つである流通改善を推進すべくこれまでの商慣習から脱却し、「次代」の実現に向けた組織再編（医薬・検査薬の融合、事業所統廃合など）、従来のMS、EMSの枠に捉われない役割・機能の明確化と新たな役割・職種・働き方の開発や人財活用・育成の強化などを推進することで卸売事業の生産性を向上させます。

### ②調剤薬局事業の変革

デジタル化への対応と在宅医療への貢献に向けた組織・機能の変革を推進するために、32社ある事業会社の管理機能集約とシステム統合による機能強化、採算性を重視した新規開局・閉局、保険外収入の拡充と、人財活用・育成、意識改革に取り組みます。

### ③地域創生～地域ヘルスケアデザイン～

構想区域（二次医療圏）に基づいた活動を可能とする組織に再編し、地域の実情や課題を見極め、広域から狭域までの物流体制と顧客支援システムを中心とした医療DXを融合することで、最善となる課題解決を企画・設計・実行し、医療提供体制への支援と健康を願う人々のQOL改善の実現に取り組みます。

### ④産総研との連携研究ラボ、MAXIS2021

国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）が有する最先端技術による先進的開発力と当社グループの業界知見・ノウハウを融合し、医療アクセスの課題解決や新しい技術、システム、サービスの社会実装を進めます。

また、持続的成長と社会から必要とされる企業でありつづけるための社内改革プロジェクト

「MAXIS2021」を推進し、産総研との連携研究ラボで培われる研究開発思考の人財と合わせ、次代を担う人財の育成にも努めます。

## (2) 成長投資・収益性向上

### ①スペシャリティ製品 フルラインサービス

市場拡大が見込まれるスペシャリティ製品の取扱いを拡大するため、製薬会社やバイオベンチャーからの多様なニーズに対応できるフルラインサービスを当社の一元管理システムと積極的なアライアンスにより構築します。

### ②顧客支援ビジネスの進化

医薬品発注・情報端末機「ENIF」、医療機関検索サイト「病院なび」、「初診受付サービス」やオンライン診療・服薬指導システム「KAITOS」など30年近く築き上げてきた顧客支援ビジネスにおける当社の強み（豊富なラインナップ、グループ内に開発を担う事業会社、ニーズに合った提案力とフォロー体制、全国への普及実績）に加え、アライアンスによりAI等の最先端技術を取り込むことで、更なる進化を目指します。

### ③新規事業の探求と挑戦

成長が期待できる医療関連領域・製品への積極的な投資による新たな事業の構築を、卸売事業・調剤薬局事業・医薬品製造販売事業を有する共創未来グループにしかできないグループシナジーを最大源に発揮することで実現します。

### (3) サステナビリティ経営

#### ①当社のサステナビリティ経営

経営理念に基づき、医療・健康・介護分野に携わる企業集団として、事業を通じた社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます。環境への取り組みについては太陽光パネル、蓄電池、EV車の活用による脱炭素への取り組み、計画配送・共同配送による配送効率化を推進します。

#### ②人的資本の価値最大化

人財によって成長し、社員の自由な発想を尊重してきた当社の企業文化を大切に継承するとともに、共創未来グループが必要とする人財の育成と、人事制度の整備、働き方改革の推進により人的資本の価値最大化に取り組みます。

#### ③コンプライアンス・リスクマネジメント

全ての役員と社員が「関連法規の遵守」と「コンプライアンス・リスクマネジメント」を最優先事項として行動します。

### (4) 資本効率の改善と株主還元の向上

#### ①「次代」のあるべき姿

- 株 価 純 資 産 倍 率 (PBR) : 1倍以上 (2023年3月末 0.65倍)
- 自己資本当期純利益率 (ROE) : 8%以上 (2023年3月期 5.6%)
- 純 資 産 配 当 率 (DOE) : 2%以上 (2023年3月期 0.9%)

#### ②中計 2023-2025 における具体的施策

- 投資計画 : 380 億円
  - 成長分野への投資 : 200 億円
  - インフラへの投資 : 120 億円
  - 人的資本への投資 : 60 億円
- 自己株式取得 : 300 億円以上
  - 資本効率を考慮し、機動的に実施します
- 配当 :
  - DOE2%を見据え、安定的に向上させます
- 政策保有株式 :
  - 保有企業先との十分な対話を経たうえで、継続的に縮減します

以 上